

子どもの学習支援事業

(ひとり親家庭等学習支援事業・生活困窮者学習支援事業)

H30 予算額 9,600千円
内訳 子育て支援課 6,720千円
生活支援課 2,880千円

資料 4

- 母子・父子家庭及び、生活困窮世帯等の子どもに対して、学習習慣の定着と基礎学力の向上を目的とした学習支援。
- 指導者1対生徒3の個別指導形式による集合型学習支援、並びに不登校・ひきこもりなど困難な状況にある子どもに対しての指導者1対生徒1での派遣型学習支援を実施。
- 学習支援のほか、進路指導、進学に必要な情報の提供、日常生活習慣の形成、社会性を育成する居場所の提供、受講者の学習や生活上の悩みへの相談対応を実施。

事業概要

- 対象者** 次の世帯に属する市内在住の小学校6年生から中学生まで
 - ・生活保護世帯
 - ・就学援助を受給する世帯
 - ・児童扶養手当を受給する世帯
 - ・その他市長が認める者

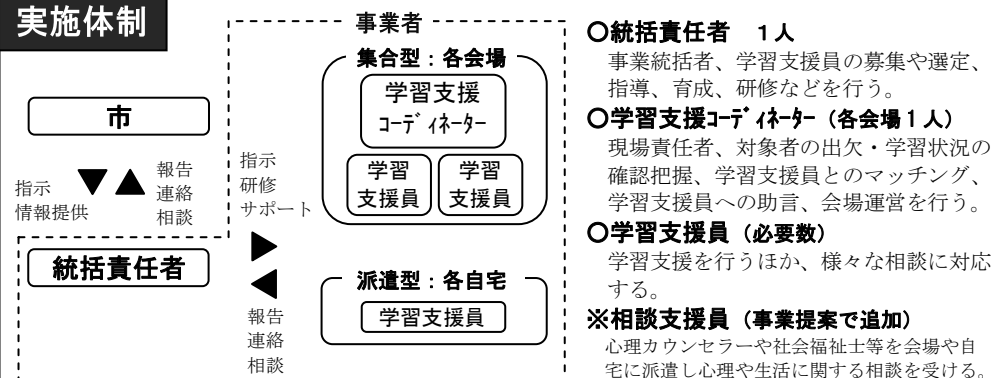
※派遣型は、上記に加え不登校など対人関係に課題があるものなどが主体
- 人数** 集合型：40人 派遣型：3人 (公募せず、SSWや子家からの紹介での選考)
- 実施場所**
 - ・集合型

東部	10名程度	水曜	18:30～
西部	10名程度	火曜	18:30～
中央部	20名程度	土曜	14:30～

※実施場所は非公開。問合せがあれば回答する程度。
 - ・派遣型 受講者の自宅
- 実施期間、指導形式・回数**
 - ・実施期間：6月中旬～3月初旬
 - ・指導形式

集合型	1:3 (学習支援員対児童)	週1回	全36回
派遣型	1:1	月2回	全20回
- 指導時間** 1回2時間程度。(途中休憩含む)

実施体制



関係機関等との連携

1 市との連携

月1回、市と事業者で連絡会議を実施。業務の進捗状況、支援状況の報告を行う。

2 関係機関等との連携

市の関係部署や学校関係者及び関係機関との会議に事業者が出席し、支援状況の報告や情報共有を行い、連携して支援を行う。

事業の流れ

※派遣型については、公募は行わず、SSWや子家等からの紹介により選考する。

